

全力疾走!

令和2年10月22日発行 VOL. 64・65合併号 発行者 宮城県議会議員 庄田 圭佑



決算総括質疑で行革の必要性を問う



↑ 決算特別委員会にて会派を代表して総括質疑に立つ様子。

皆さんこんにちは。宮城県議会議員の庄田圭佑です。

9月23日にスタートした第375回定例会も10月22日に原案可決となり閉会しました。今議会では、県立高等学校へのエアコン整備費をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応経費等の予算が計上され、その財源確保策として県の全事務事業の見直し（詳細は2面）が実施されました。

さて、私は下記テーマで決算総括質疑に立ちました。今後新型コロナウイルス感染症の影響によって、税収の減少が見込まれることから、歳入確保策と歳出抑制

1. 基金運用と財務執行について
2. 人材育成と働き方改革について
3. 宮城県地域整備事業会計について

を講じるため、行政改革の必要性に触れつつ、昨年度決算の改善点を指摘することを意図して質疑に臨みました。

特に基金運用と財務執行については、県の基金残高約3500億の運用益は1.46億円、利回り0.039%で、福岡県（0.582%）や群馬県（0.712%）等の類似団体と比較しても、大分見劣りしています。その為、財投機関債などを活用し運用益確保に一層の努力が必要と指摘を致しました。村井知事からは「**十分検討に値するご指摘なので、早急に検討したい**」との答弁でした。

これは、基金運用益が地方交付税の算定根拠となる基準財政収入額には加算されないことが背景にあります。例えば、基準財政収入額に加算される地方税では、1億円税収が増えても国からの交付税は7500万円減額されるため、実質2500万円の増収にしかありません。しかし、運用益は基準財政収入額に加算されないため、運用益が1億円増えても交付税は減額されず、そのまま1億円が県の収入として残ります。そういう面で、充分とは言いがたい基金運用の成果について質疑を致しました。

他にも、収入額未済や債権の一括管理による事務コストの削減、RPA導入による生産性の向上、仙台港国際サポートセンター（アクセル）の経営改善などについて質疑致しました。詳細は議会録画映像をご覧ください（<https://miyagi-pref.stream.jfit.co.jp/>）。

引き続き県政発展に全力疾走して参りますので、皆様から忌憚のないご意見賜れば幸いです。

宮城県議会議員 庄田 圭佑

採択された意見書

1. 児童相談所の体制強化を求める意見書
2. 小規模事業者に対する支援及び支援体制の拡充・強化に関する意見書
3. 新型コロナウイルス感染症による影響の長期化に備えた対策等を求める意見書
4. 精神障害者に対し公共交通運賃割引制度の適用を求める意見書
5. 私学助成の充実強化に関する意見書

実現しました! エアコン整備

6月議会の予算総括質疑にて、県立高等学校へのエアコン設置について、全国ワースト3位の設置率であったことから、複数年かけてでも可能な限り財源を確保し、整備すべきと強く要望致しました。

今般、知事の英断もあり国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しながら、全県立高等学校へのエアコン整備予算が措置されました。



新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた事務事業見直し

総額13億6612万の財源捻出へ！

東北大震災からの復旧・復興事業は引き続き最優先で取り組み、県民生活や地域経済への影響に十分配慮しながら、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に備えた更なる感染防止策や経済対策の取り組みに加え、今後の大規模な自然災害への備えを加味し、様々な課題に時機を逃さず、迅速かつ適

切に対応するため、全事務事業について見直しを実施。特に、コロナ禍で実施困難な大会やイベント経費、施策効果が充分に見込めない事業や業務、会議や県外出張などの経費を中心に幅広く見直しを行い、コロナ対策費として13億6612万円の財源を捻出致しました。

単位:千円

部	局	現計予算額	見直し額	主な見直し内容
議 会 事 務 局		1,697,943	▲ 103,546	議員報酬や政務活動費の削減、海外調査や県内外調査の中止又は縮小、県議会広報の見直し
総 務 部		188,184,363	▲ 54,074	全国豊かな海づくり大会延期に伴う地方事情御視察等関係費の減額、特別職（知事、副知事）の給与削減、職員研修の一部中止等
震災復興・企画部		10,107,183	▲ 199,333	オリンピック・パラリンピックの延期に伴う関係経費の減額、会議や講習会、各種研修会等の開催中止または縮小
環境生活部		11,164,546	▲ 3,003	森林インストラクター養成講座中止による減額、会議や講習会、監修会・研究会等の開催中止または縮小
保健福祉部		204,481,005	▲ 71,554	全国障害者スポーツ大会中やねりんピックの延期に伴う関係経費の減額、会議や研修会等の開催中止または縮小
経済商工観光部		194,447,142	▲ 189,677	通年観光キャンペーンや海外向け PR 活動及び商談会等の縮小、パスポート申請減少に伴う減額、会議や研修会等の見直し
農 政 部		72,578,215	▲ 25,667	オリンピック・パラリンピック関連県産食材 PR 業務や県外物産展中止による減額、会議や研修会等の開催中止又は縮小
水産林政部		45,098,235	▲ 273,447	全国豊かな海づくり大会延期に伴う関係経費の減額、会議や研修会等の開催中止又は縮小
土木部		192,373,058	▲ 2,421	みやぎ建設ふれあいまつり開催中止による減額、会議等の開催中止又は縮小
監査委員事務局		263,652	▲ 369	特別職（常勤監査委員）の給与削減
人事委員会事務局		194,882	▲ 124	会議や協議会の開催中止又は縮小
労働委員会事務局		157,159	▲ 261	会議の開催中止又は縮小
出 納 局		1,161,311	▲ 2,182	会議や講習会、研修会の開催中止又は縮小
警察本部		56,411,580	▲ 206,289	全国豊かな海づくり大会やオリンピック・パラリンピックの延期に伴う警察活動費の減額、会議等の開催中止又は縮小
教育庁		174,051,424	▲ 234,181	国体や全国高校総体の夏季大会中止に伴う関係経費の減額、特別職（教育長）の給与削減、研修会等の開催中止又は縮小
合 計		1,152,371,698	▲ 1,366,128	

見直しが額が大きい主な事業

- ・全国豊かな海づくり大会関連経費 ▲440,709千円
- ・東京オリパラ関連経費 ▲279,940千円
- ・国民体育大会参加費 ▲143,931千円
- ・議員報酬及び政務活動費・調査費 ▲77,572千円
- ・通年観光キャンペーン推進費 ▲52,500千円



成立した第5次補正予算の主要事業概要

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対策や東日本大震災及び令和元年度東日本台風からの復旧・復興に要する

経費を予算化しています。主に、医療提供体制の整備やPCR検査体制の充実等に予算が充当されております。

新型コロナウイルス感染症対策

※(新)は新規予算
(拡)は拡充予算

事業項目	予算額(千円)
医療提供体制整備費(拡)	676,258
検査体制構築費(拡)	420,125
地域外来体制整備費(拡)	353,302
公立大学法人宮城大学授業料軽減支援費(新)	18,000
中小企業経営安定資金等貸付金損失補償(拡・債務負担)	412,000
被災中小企業者対策資金利子補給(拡)	573,384
中小企業等再起支援費(拡)	1,207,000
農業近代化資金利子補給(拡)	5,744
農業大学校管理費(拡)	84,710
県立高等学校空調設備整備費(拡)	2,664,000
首都圏県産品需要復支援費(新)	13,000
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時基金造成費(新)	84,822

東日本大震災・令和元年東日本台風関連

事業項目	予算額(千円)
復興関連道路整備費(拡)	1,737,213
河川改良復旧費(拡)	300,760
海岸保全復興費(拡)	164,800
林道施設災害復旧費(拡)	1,713,600
河川等災害復旧費(拡)	2,563,675

その他

事業項目	予算額(千円)
原子力災害時避難円滑化モデル実証費(新)	58,691
災害時歯科保健医療提供体制整備支援費(新)	9,920
家畜衛生対策費(拡)	46,950
防災・減災・国土強靱化対策費(拡)	142,167

※ここに掲載している事業概要は県事業の一部であり、詳細については宮城県財政課HP(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zaisei/>)をご覧ください。

令和元年度決算概要

令和元年度の一般会計歳入歳出決算が県より示されました。復興事業進展による復興関連事業予算の減少や、流域下水道特別会計を企業局へ移管したことで歳入(調定額)は昨年度比約314億9300万円の減額でした。なお、詳細は下表の通りです。

区分		令和元年度（単位：千円）
予算現額		1,377,066,702
歳入	調定額	1,327,261,408
	収入済額	1,187,996,887
	過誤納額	2,038
	不納欠損額	684,873
	収入未済額	138,581,686
歳出	支出済額	1,094,988,938
	翌年度繰越額	245,512,882
	不用額	36,564,881
歳入歳出差引額		93,007,949
翌年度へ繰越すべき財源		78,417,971
	繰越明許費	65,974,335
	事故繰越し	12,443,636
実質収支額		14,589,978

議員全員協議会開催

女川原子力発電所2号機再稼働の議論に先立ち、議員全員協議会を開催。資源エネルギー庁、原子力規制庁、内閣府を招聘し、国のエネルギー政策、発電所の安全対策、女川地域の緊急



時対応、広域避難計画等について、意見聴取を実施。各省庁からの説明後に各会派代表者がそれぞれ質疑を実施しました。その後、苦渋の選択ではありましたが、全員協議会や環境福祉委員会での議論を踏まえ、議会最終日には再稼働を求める地元商工会の請願を賛成多数で採択いたしました。

決算特別委員会

決算特別委員会とは、県の予算の執行状況が適正かどうかを審査するために設置される委員会です。全議員が委員となり、出納局から提出された決算議案について、各会派代表が質問を行う「総括質疑」を行います。その後、現に設置されている6つの常任委員会をもって構成され、決算のうち当該常任委員会が所管している事項を詳しく審査する「分科会」によって審査を行い、決算を認定すべきか不認定とすべきかを判断します。

議会活動・政務活動等レポート



コロナ禍における宮城大学の取り組みを視察



宮城・山形議連で創業支援策の在り方について発表



鳥取県と不登校支援について議会初のWEB会議開催



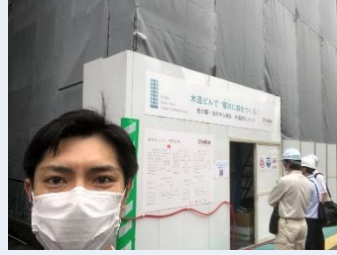
気仙沼にて不登校児童生徒保護者の皆様と意見交換



内ヶ崎酒造にてコロナの影響について意見交換



緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練を視察



仙台駅東口に建築中の7階建て純木造ビルを視察



気仙沼・唐桑オルレコースを実際に体験

企画広報委員長として、WEB版県議会だよりを創刊

私が委員長を務める企画広報委員会では、コロナ対策に伴う事務事業の見直しで広報予算を削減したため、新聞での県議会だよりの代替手段として、WEB版みやぎ県議会だよりを創刊致しました。



<https://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/dayori.html>



宮城県鍼灸マッサージ師会の皆様の要望を副知事へ



民間企業からのコロナ寄付を村井知事へお届け

オフィスアワーのご案内

県政座談会の開催、オフィスアワーの実施を間見合わせていましたが、まずは**当面オフィスアワーのみ再開**いたします。同時時間帯は事務所に詰めておりますので、お困りごと等有ればお気軽に事務所にお越し下さい。

令和2年11月8日 10時～12時

宮城県政へ一言!!

FAX 050-3737-4421

氏名

連絡先

宮城県議会議員
庄田圭佑事務所

〒981-3213
仙台市泉区南中山2-2-5
TEL: 022-342-1041
FAX: 050-3737-4421

庄田けいすけ

検索

皆様の声をお聞かせ下さい!

